



安全データシート

Blend Taq®
 作成 2004年3月5日
 改訂 2022年7月31日
 整理番号 795A

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Blend Taq®
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
電話番号	バイオ事業総括部
FAX番号	06-6348-3786(国内)、06-6348-3846(海外)
製品コード	BTQ-101

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
有害性	有害性に関する調査が不十分なので、取扱いには注意する
GHS分類	
物理化学的危険性	分類基準に該当しない
健康有害性	分類できない
環境有害性	分類できない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性		
パーツ名	主要成分	CAS No.
Blend Taq®	rTaq DNA ホリメラーゼ	
	抗Taqマウスモノクローナル抗体	
	グリセロール	56-81-5
	Tween20	9005-64-5
	ノニデットP-40	9016-45-9
10x Buffer for Blend Taq®	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	77-86-1
	酢酸カリウム	127-08-2
2mM dNTPs	デオキシアデノシン三リン酸ナトリウム	1927-31-7
	デオキシシチジン三リン酸ナトリウム	102783-51-7
	デオキシグアノシン三リン酸ナトリウム	93919-41-6
	デオキシチミジン三リン酸ナトリウム	18423-43-3

危険有害成分

化学名又は一般名	グリセロール	Tween20
別名	グリセリン	ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート
含まれるパーツと含有量	Blend Taq : 50%	Blend Taq® : 0.5%
化学特性	CH ₂ OHCHOHCH ₂ OH	C ₁₁ H ₂₃ COOC ₆ H ₈ [O(CH ₂ CH ₂ O) _n H] ₃
CAS番号	56-81-5	9005-64-5
官報公示整理番号	2-242	8-55
化審法:	公表	公表
安衛法:		

危険有害成分

化学名又は一般名	ノニデットP-40
別名	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル＝エーテル
含まれるパーツと含有量	Blend Taq® : 0.5%
化学特性	HO(C ₂ H ₄ O) _n -C ₆ H ₄ -C ₉ H ₁₉
CAS番号	9016-45-9
官報公示整理番号	7-172
化審法:	公表
安衛法:	公表
化学物質管理促進法	1-410
指定化学物質(政令番号)	(<1% 非該当)
労働安全衛生法	該当しない
通知対象物(政令番号)	
毒物劇物取締法	該当しない
毒物・劇物(政令番号)	

4. 応急措置

吸入した場合	誤って吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動する。異常がある場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染した衣類、靴などを直ちに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水または微温湯で流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。
目に入った場合	直ちに清浄な流水で少なくとも15分以上洗浄し、速やかに眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	できるだけ吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。



安全データシート

Blend Taq®
 作成 2004年3月5日
 改訂 2022年7月31日
 整理番号 795A

5. 火災時の措置

消火剤
 消火を行う者の保護

粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂など。
 消火作業を行う際は風上から行う。大規模火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
 環境に対する注意事項
 除去方法

眼、皮膚への接触、吸入を避ける。回収の際は適切な保護具を着用する。
 可能な限り回収する。回収後多量の水を用いて洗い流す。
 可能な限り、減圧で吸収したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策
 注意事項
 安全取扱い注意事項
 保管
 適切な保管条件
 安全な容器包装材料

人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。接触しないよう注意して使用し、接触した際はできるだけ除去する。
 局所排気内で取り扱う。
 取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
 全ての試薬は-20℃で保管する。
 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策
 許容濃度
 日本産業衛生学会
 ACGIH (1999年版)

換気設備を設置する。
 グリセロール(ミスト) Tween20 ノニドットP-40
 設定されていない。 設定されていない。 設定されていない。
 TWA-TLV 10mg/m³ 設定されていない。 設定されていない。

保護具
 呼吸器の保護具
 手の保護具
 目の保護具
 皮膚及び身体の保護具

必要に応じてマスクを着用する。
 ゴム手袋を着用する。
 保護眼鏡を着用する。
 必要に応じて実験用の被服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状
 臭い
 臭いの閾値
 pH
 融点・凝固点
 沸点・初留点、沸騰範囲
 引火点(℃)
 蒸発速度
 燃焼性(固体、気体)
 爆発範囲
 蒸気圧
 蒸気密度
 比重(相対密度)
 溶解度
 n-オクタノール/水分配係数(Pow)
 自然発火温度
 分解温度
 粘度(粘性率)
 その他のデータ

Blend Taq®は-20℃以上で液体。他は常温で液体。-20℃で固体。無色透明。
 ほとんど無臭。
 データなし
 7.0~8.0
 データなし
 データなし
 データなし
 水溶液のため引火性はないと考えられるが、Blend Taq®は水分蒸発後160℃の引火点を持つグリセロールと270℃の引火点をもつTween20が残留する。
 データなし
 データなし
 常温では爆発性はない。
 データなし
 データなし
 各パーツの密度は1.0~1.2mg/cm³
 水に可溶。
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	-20℃で安定。
反応性	特に常温で危険な反応性はない。
避けるべき条件	火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤。
危険有害な分解生成物	グリセロール酸化分解物など。

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び刺激性	眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし
各成分の有害性情報	グリセロール ノニデットP-40
急性毒性(LD50)	マウス経口:4090mg/kg ラット経口:12.6g/kg エチレンオキシドの付加モル数により、毒性値が著しく異なる。1300mg/kg(付加モル数10の場合)、>15900mg/kg(付加モル数20の場合)。
皮膚腐食性及び刺激性	眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発癌性	
日本産業衛生学会	記載なし
IARC	記載なし
ACGIH	記載なし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生体毒性	
グリセロール	魚類(ニジマス):LC50(96hr) 54g/L 魚類(金魚):LC50(24hr)>5g/L 甲殻類(オオミジンコ):EC50(24hr)>10g/L 藻類(紅藻):EC50(28hr) 4.6g/L
残留性/分解性	酵素は良分解性と考えられる。グリセロール, Tween20は生分解性良好な物質である。
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
環境基準	データなし
他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。本製品の低濃度排水は活性汚泥処理を行うことができる。
汚染容器・包装	大量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。



安全データシート

Blend Taq®
 作成 2004年3月5日
 改訂 2022年7月31日
 整理番号 795A

1 4. 輸送上の注意

国内規制(国際規制) 輸送に関する法規制には該当しない。
 国連分類・番号 国連勧告の定義上の危険物には該当しない。

1 5. 適用法令

輸送に関する法規制は、14. 輸送上の注意の項参照

グリセロール
 ー
 化審法 危険物第4類引火性液体第3石油類
 消防法 水溶性液体
 化学物質排泄把握管理促進法 非該当
 海洋汚染防止法 非該当

ノニデットP-40
 化審法 第3種監視化学物質
 消防法 非該当

化学物質排泄把握管理促進法 法第2条第2項、施行令第1条 別表第一種指定化学物質
 海洋汚染防止法 環境省告示・査定物質（Y類同等の有害液体物質）

1 6. その他の情報

制約事項 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供を目的とするものであって、保証するもの
 参考文献 「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社